

舞台芸術

民族芸能

●2月6日(日)

「シルクロードからの
ウイグルの風」

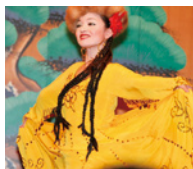
<上演演目> 新疆ウイグル
自治区の民族舞踊と音楽

<出演者からのひと言> シルクロードの要衝で生活しているウイグル人とはどんな人たちで、どのような文化なのかをお届け。

第1部=ウイグルの生活ぶりを、映像を投影しながら解説。お話はレイハン・パタール(甲南女子大非常勤講師)。

第2部=歌、音楽、踊り。出演はジャミラ・ウライム、ヘニ・ウプル、プアイシエム・ヤクブ、アイニサ・サタル、ニジャット・ウメル

ミュージアムホールにて 14:00~ 無料



ライブ&ワークショップ

●3月21日(月・祝)

「ハッピーバイブレーションこうべ!」

<出演者からのひと言> 誕生から命尽きるまで、体内で鳴り響く"リズム=心臓の鼓動"。このエネルギーを打ち鳴らそう!

◎梶原徹也(ドラム)。ロックバンド「ザ・ブルーハーツ」の元ドラマー。大人気で演奏をし、音楽の楽しさを共有する活動に力を入れる

◎友岡宣仁(和太鼓・三味線。和太鼓「連風」。国内外で演奏、指導など様々な活動)

第1部=手作り楽器&リズムワークショップ。

アトリエ1にて 13:00~

(ワークショップは一般1,500円、高校生以下500円)

第2部=ドラム&和太鼓ライブパフォーマンス。

参加者全員での演奏も。

屋外南大階段にて 15:30~ 無料



その他のイベント

関西学院大学絵画部弦月会 2011卒業制作展

●2月2日(水)~2月6日(日)

ギャラリーにて 10:00~18:00

ただし、2月6日は10:00~15:30

入場料:無料 主催:関西学院大学絵画部弦月会

アプレミディ・コンサートX

Notre Concert d'après-midi

~C.フランクとフランクストと呼ばれた作曲家~

●2月6日(日)

アトリエ1にて 15:00開演(14:30開場)

入場料:1,500円 主催:神戸フォーレ協会(080-3132-8913)

カオス2011 神戸芸術工科大学卒業

●2月11日(金・祝)~2月13日(日)

作品展示(ギャラリー・回廊・ホワイエにて)

映像・映画上映会(ミュージアムホールにて)

10:00~18:00 入場料:無料 主催:神戸芸術工科大学

平成22年度 宝塚大学 春の造形展

●2月17日(木)~2月20日(日)

作品展示(ギャラリー・回廊・ホワイエにて)

映像作品上映会(ミュージアムホールにて)

10:00~18:00 入場料:無料 主催:宝塚大学

2011専門学校アートカレッジ神戸

卒業・進級制作展 ART WORKS

●2月25日(金)・26日(土)・27日(日)

ギャラリーにて 10:00~18:00

ただし、2月27日は10:00~15:00

入場料:無料 主催:専門学校アートカレッジ神戸

平成22年度 Heart Art Communication 展

●3月9日(水)~3月13日(日)

ギャラリーにて 10:00~18:00

ただし、3月13日は10:00~15:00

入場料:無料 主催:Heart Art Communication

第33回 国際書画展 関西展

●3月18日(金)~3月23日(水)

ギャラリーにて 10:00~18:00

ただし、3月23日は10:00~15:00 ※3月22日は休館

入場料:無料 主催:国際書画連盟

Exhibitions

展覧会

特別展

注目作家紹介プログラム

チャンネル1

林勇氣 展

「あること being/something」

2月18日(金)~3月19日(土)

幅広い注目を集める映像作家・林勇氣(はやし・ゆうき 1976-)。コンピュータゲームを思わせる世界を人物が淡々と歩きつづける作品はCGのようにも見えますが、写真をコンピュータ上で切り貼りして生み出されたものです。新作《あること being/something》では、初の試みとして、作品の素材となる写真や映像世界の住人(出演者)が一般から募集されます。新進気鋭の作家による「体感する映像詩」をお見逃しなく。



《あること being/something》, 2011, video still

注目作家紹介プログラム「チャンネル」とはチャンネル(channel)という単語には「海峡」や「水路」、美術館の前にもある「運河」、テレビやラジオの「チャンネル(局)」、「思考・行動の方向」、さらには何ものかとの「交信」など、様々な意味があります。そこに共通するのは「何かと何かをつなぐこと」。美術館を訪れる人と、同じ時代を生きるアーティストとがつながっていくことを願って、新企画のタイトルを「チャンネル」としました。

関連イベント

SPANOVA/rimacona ライブ

3月5日(土)

ギャラリー棟1階 ホワイエ

18:00開演(17:30開場) 入場料:無料



林勇氣

色彩革命!

—モダン・アートはここから始まった。

レンパッハハウス美術館所蔵

カンディンスキーと青騎士

4月26日(火)~6月26日(日)



ヴァシリー・カンディンスキー (ミュンヘン・郊外) 1908年
レンパッハハウス美術館蔵 Städtische Galerie im Lenbachhaus und Kunstbau München

20世紀初頭、ロシア生まれの巨匠カンディンスキーは、仲間とともに新しい美術運動を展開させるべく、グループ「青騎士」を結成し、その活動はモダン・アートの歴史に輝かしい足跡を残しました。本展では、ミュンヘン市立レンパッハハウス美術館が誇る世界屈指の青騎士コレクションから、約60点の作品を写真や資料とともに展示し、色鮮やかで大胆な描写によって美術の変革をなした青騎士の絵画世界を紹介します。

コレクション展

2010年度コレクションⅢ

コレクション名品選

「描かれた人々—女と男」

小企画

「[その他]のチカラ。—森村泰昌の小宇宙—」

開催中~3月13日(日)



神中糸子《はるの像》1894年

森村泰昌《カミーユ・ルーラン(セビア)》1985年

今回は、「コレクション名品選~描かれた人々—女と男」と題し、当館の所蔵品の中から人物を描いた作品を特集します。展示室1~3では日本の近現代美術に見られる様々な女性像と男性像を展示します。さらに、展示室4では版画と彫刻のふたつの分野で女性のイメージを追求した海外作家を紹介し、人間というもっとも身近な主題を取り上げた作品の数々をお楽しみください。

また、併催の小企画として「[その他]のチカラ。—森村泰昌の小宇宙—」を2階の展示室6にて開催。当館所蔵品を軸に、ある蒐集家による知られざるコレクションを初めて一堂に展示しています。

関連イベント

学芸員によるギャラリートーク

2011年2月19日(土)

「森村泰昌の小宇宙」展について(江上ゆか・当館学芸員)

16:00~(約45分) 要観覧券

ミュージアムボランティアによるガイドツアー

会期中毎週金・土・日 13:00~(約45分)

次回 2011年度コレクション展Ⅰ

3月26日(土)~7月3日(日)

「伊藤文化財団設立30年記念

—寄贈作品の精華(仮称)」

友の会

アートと友だち!

平成23年度

兵庫県立美術館「芸術の館友の会」

会員募集中!

会員期間 平成23年4月1日(金)~平成24年3月31日(土)



12月「[その他]のチカラ。—森村泰昌の小宇宙—」関連イベント 対談風景

「芸術の館友の会」は、美術を愛し、美術館の活動をサポートすることを目的としています。ご入会いただくと、会員証で特別展をご覧いただける(会員種別により鑑賞回数異なります)、コレクション展を何度でもご覧いただける他、嬉しい会員特典があります。会員限定の日帰りバス旅行や国内鑑賞旅行、ワークショップなど、美術ファンに向けた楽しい行事や特典をご用意しています。この機会に是非ご入会ください。

※美術情報センター内、カウンターにて入会受付中!詳細は、ホームページもしくは友の会事務局までお問い合わせください。お問い合わせ:078-262-0916 Eメール: tomonokai@artm.pref.hyogo.jp